

# 報新業商陽磐

### 徒弟諸君こそその

## 獨立想案の人に

店員や工手から進んで獨立の如きは處世上の一般的要  
 經營に移る人々は毎年可成素であるから更に茲に言ふ  
 多いことであらう、それ等へき必用はないが處か今迄  
 の人々は孰れも尊い經驗の世間の獨立を志す人々は往  
 所有者であらうから今後經營にして右の條件を閉却す  
 營主として活社會に立ち他るもの、多きは當初極めて  
 と伍して行くだけの自覺が完全と見られたる獨立經營  
 あらう然るに時々刻々と進者は實際にのぞんで往々失  
 化して行く商工界の競争は敗を果ねる事があるはその  
 一層烈しい事だ今後獨立と  
 して行くには相當の難關は  
 供ふものと思はなければ成  
 らぬ従つて今後獨立營業を  
 なさんとする人々は自分資  
 格を一應顧みなければなら  
 ぬと思ふそれで足らぬと自  
 覺したら十分の修養を遂行  
 する必要がある、元來商工  
 主として苟も一事業を主統  
 する以上は營業上の整理は  
 勿論仕入から凡ゆる營業品  
 の保存は申に及ばず店員の  
 操從の道も大いに必要であ  
 る然るに又是より一層心せ  
 ねばならぬ事は各々顧客の  
 一般に對する趣味と嗜好な  
 る機に臨みて良く謀り良く  
 斷するの戰士の膽略を備へ  
 内にありては店務統制の任  
 に絶えずに激烈なる競争に  
 も應ずべき即ち經營的技能  
 と進取的勇氣がなくてはな  
 らぬ、その健康と忍耐とか

### ◎御詫

年末に付御家御多忙の  
 御事御察し申上候  
 扱て當新報印刷所も年末  
 の折とて込合候に付今回  
 發行の遅れたる事は會員  
 諸君にお詫いたします

### 商店必須

本誌は本誌より毎號東京開  
 尾仕入先を案内致しますか  
 ら此れを切り取り置いて置け  
 一寸商品の照會などに至便  
 です

### 洋織物商

- 日本橋區新和泉町二 井上 兼吉
- 長谷川町一 井上 金作
- 新木町一五 井出 五男
- 田所町九 谷 源左衛門
- 同 二九 市田商店洋織物部
- 同 堺町四 岩 佐 捨藏
- 同 彌生町六 稻垣長太郎
- 同 田所町一六 池田 芳男
- 同 神田區元柳原町四二 石井源次郎
- 同 日本橋區堀留町二ノ一八 石井源次郎
- 同 通油町二 石田 萬兵衛
- 同 新材木町一四 松之助
- 同 長谷川町一 長谷川 定助
- 同 西村合名會社
- 同 西村 定助
- 同 日本橋區長谷川町二二 西澤 爲次郎
- 同 日本橋區橋本町二ノ一〇 堀越勘治商店

### 平市況

白米	上 五五〇〇	中 五三〇〇	下 五一〇〇
石炭	噸 五〇〇〇	噸 四八〇〇	噸 四六〇〇
木炭	表 一四〇〇	裏 一三〇〇	裏 一二〇〇
吳服	同 上 五五	同 中 五〇	同 下 四五
野菜	白菜 二六	葱 二二	大根 二〇
紙類	機械半紙上等 八四〇〇	全中 八二〇〇	全下 八〇〇〇
茶	本場上 貫三、〇〇〇	全中 二、〇〇〇	全下 一、〇〇〇

處方調劑 平町五丁目  
 藥品一般 山野邊藥局  
 計量器 藥劑師 山野邊東次郎

日本石油株式會社特約店  
 磐城平町二丁目  
**清關内油店**  
 電話一六番

良品廉賣に優る商零なし  
 品質優良 在庫豊富  
 福島縣平町五丁目  
**釜屋商店**  
 振替東京一〇九五六番  
 電話九番 一三九番

和洋鋼鐵 釜屋商店  
 金物問屋  
 現金取引は弊店の特色なり  
 価格最低 出荷迅速  
 福島縣平町新川町  
**松崎長三郎**  
 電話一七二番  
 振東一五九九

男女用 ジャケツ  
 洋品各種  
 平町二丁目  
**中山家**  
**メリヤス店**  
 電話六〇五番

平町三丁目  
**ホシチエーシストア**  
 平支店  
 磐城平町二丁目  
**中野洋品店**  
 電話五三番

三德麥代用米 特約販賣店  
 コールタール  
**伊藤隆次商店**  
 磐城平町小名濱町

自働車用 平サービステーション  
 部分品 電話六一番

木炭商 鈴木金三郎商店  
 石城郡四倉新町

既製品 洋服各種 在庫豊富  
**おかや洋服店**  
 電話二〇三番

乗合 貨切 芹澤自動車部  
 冠婚慶祭遊山等貨切の場合には特に勉強御相談に  
 應ずべく候  
 福島縣石城郡平町五丁目  
**磐城建物株式會社**  
 電話五一八番

乗合 貨切 菊地自動車部  
 深切勉強  
 電話六三三番

福島縣平町搔籠小路三〇  
 清光堂分店  
**乾書店**  
 電話三一五番

新刊書籍の御注文は迅速に御取次申上候  
**磐城無盡會社**  
 社長 小宅嘉久治

米雜穀 布袋屋號  
**伊藤隆次商店**  
 其他和洋菓子、果實、當産名産品販賣

### 偶感

迷亭生

今日は！大根と葱は要らナ  
 子ゲーと在郷の百姓のかみ  
 さんか来る、御菓子は如何  
 蒸したての饅頭ですか、干  
 菓子もありません、御値宜  
 しい御座います。同じ大根  
 でも葱でも町の小賣商より  
 安い、御菓子上にしても御値  
 ではと、町々の奥さん達は  
 喜んで買ふ、自分で町へ熊  
 々出懸けて或は市場に或は  
 大商店へ買物する、奥様は  
 電話にて取り寄せるより自  
 分の氣に入つた物を而も安  
 く買ふ事は出来て、大商店  
 ではよく見える方ですから  
 人被やい、何を差上げませ  
 う、手前共では何品によら  
 ず極安く勉強して御値と同  
 様に差上げて居りますので  
 へい、従つてか、る店では  
 随分御客が殺倒する、然し  
 買ふ方から見れば、それで  
 も高いと思ふてらしい、  
 それで原産地に向つて注文  
 する、或は川越、或は銚子  
 野菜なら長町、千住、下仁  
 田、一ノ關、織物は好みに  
 依て相生足利、久留米、大  
 島、越後と日本の果までも  
 購買組合的に注文する、見  
 え坊！虚榮？家は、三越が  
 来た、松坂屋来たと云ふて  
 競ふて行き、町の品より割  
 高の物買つて来て、喜んで  
 「マーク」を人に見せびら  
 かせ、  
 成る程世の中不景氣だ不景  
 氣なればこそ百姓家も自分  
 奮負つて賣りに来て、八百

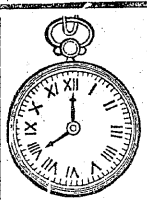
屋へ御より幾分利益がある  
 勢力は別問題だと云ふ、御  
 菓子類を「リアカー」に積  
 んで行商するのも自分の店  
 でじつとして客を待つより  
 積極的に薄利多賣で行かう  
 とする、又大きい商店で安  
 く買つて小賣店を倒せんと  
 競争と進めは賣る、斯く多  
 人の努力と利益離れした事

鏡眼と計時

他其屬金貴  
 品製ム一口ク

店計時屋盤常

番九三三 日丁町平



する農産物は等級(市場に  
 利益を標準にして進めば製  
 産者も安心、需要家も喜ぶ  
 一丁した寫眞を撮るにも相  
 當高くとられる地方のこと  
 とて確かに此の商略は成功  
 を並へてその勉強振りを發  
 揮して居るが、余りに戸毎  
 に同業家の多きが故に需家  
 もそれから其れと見廻り行  
 き迷ひ迷ひて遂ひに要を達  
 せす思ひも寄らぬ時間を遣  
 し、安價なる品を見當て、  
 も半日も掛か、つて拾銭や  
 貳拾銭安く買ふても決して  
 利益を見る事は出来ず一代  
 一生に還らぬ時間をそのま

赤ん坊の寫眞

凡ゆる商賣で購買刺戟の有もあれば金指環もあるとい  
 方手段として景品贈呈をや  
 つた次第である。

の様に月並みに成つては而  
 も其の景品なるものが公衆  
 に何等の吸引力のない粗末  
 のものとなつては到底思ふ  
 半分の顧客は来ないと言ふ  
 のである呉服店では店から  
 定めた一定の景品の代りに  
 多くの品の内から顧客に自  
 由に選擇せしめる様にして  
 無代で其の赤ん坊の寫眞を  
 撮つてやることにした例へ  
 ば今日来たお客がまた来月  
 来ると矢張り同じ様に撮し  
 てやる……これが巧いので  
 ある。云ふまでもなく赤  
 ん坊は日に日に成長するも  
 のであるから、母親は二度  
 になり三度になり四度にな  
 りと言ふ様に一度も多く撮  
 りて貰ふことを喜んで居  
 る、可愛い赤ん坊の成長のレ  
 コードが寫眞で残されるか  
 らである。

各商店の  
 賞賛の聲

我が商業界は近來實に目醒  
 しが發展を示して来たが商  
 家は實に此の活社會の物品  
 供給場の役目として需用家  
 手数をいらずに配達し得るは  
 御利益は勿論消費額の軽減  
 を計るは最大の本分である  
 を計るは最大の本分である  
 を計るは最大の本分である

リモ歯科

醫院

院長 森 芳 雄

町本町田植

雄 芳 森 院長

御料理

井の一

七六一電 町野町平

銘酒 銘妻

石城郡植田町  
 古川酒造店

各種洋服  
 品質本位  
 迅速丁寧

石城郡平町一丁目  
 仙臺屋洋服店

電話六二二番

良品格安の  
 買へ良き店

平町一丁目 電話一七七番

仙臺屋吳服店

純正の質  
 鮮麗の色  
 萬年筆用  
 國產文具の權威  
 地球印鉛

代理店  
 學用品文具問屋

魁文堂

平町字搔搦小路五  
 電話三三三三  
 振替仙三〇六九

筆 篆 隸 鐫 刻 諸印刻方圓堂

都 甲 正 三

平町二丁目

乗合。貸切。  
 貨物自動車業

平町一丁目 電話四四九

松崎自動車部

搔搦小路 電話八二三番

松崎自動車部車庫

婚禮、葬式、遊山等貸切の場合には特に御相談  
 に應ずべく候

見習小僧數名人用

西洋家具 式 長谷川椅子店



本季流行の粹を網羅せる

一、着尺モスリン  
一、シヨール  
**陳列會**

何卒御覽下さい

**三井吳服店**

電話 三十八番  
電話 七百五十一番

**平藝妓屋屋組合**

日英米佛獨專賣特許

商標 登錄  
**全女王醬油**

福島縣平町

ヤマト醬油株式會社

電話 七四一番

スタンレー電球特約販賣店  
ダンロップタイヤ特約販賣店  
磐城湯本町 鈴木屋號

**鈴木稻實商店**

フォード自動車  
各種タイヤ・中袋  
ガソリンモーター  
自動車 附屬修繕  
タイヤ・中袋修理  
乗合・貨物・貸切・自動車業

羅紗洋服既製品商

**柏屋洋服店**

安田經營  
平町壹丁目十四番地

**共濟生命保險株式會社**

帝國海上保險株式會社

平第二代理店 柏原喜代松

**石城郡銀行組合**

磐城銀行

平銀

磐越銀行

磐城實業銀行

磐東銀行

四倉銀行

七十七銀行平支店

第七十七銀行平支店

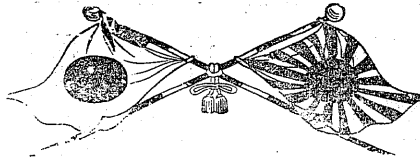
福島農工銀行平支店

常磐銀行出張所

銘近盛余馬日支店

近江屋號  
磐城平田町二十五番地  
電話 二五四番

諸機械工具類  
輸入製作販賣  
T.S.式船用小型發電機  
石油發動機製作發賣  
トバタ式小型石油  
發動機一手伏理  
**沿釜清商塵**  
福島縣石城郡平町白銀町  
電話 三二九  
電話 七一九



**祝創刊**

平町會議員(順不順)

**青年分團愛友會**

會長 高萩 盛男

平青年分團 薄葉 孝至 松本 嘉久

遠藤 義雄  
萩原 義三  
大崎 菊三  
松橋 國三  
諸橋 定太  
吉田 岩次  
佐藤 淺次  
荒川 茂次  
井上 唯次  
星野 榮三  
阿部 久藏  
大野 清吉  
丹野 三郎  
柏原 眞吾  
鷹邊 眞一  
渡邊 眞一  
會川 眞三  
加納 眞三  
佐藤 眞三  
阿部 眞三  
吉田 眞三  
阿部 眞三  
岩本 眞三  
野崎 眞三  
森崎 眞三  
櫻木 眞三  
佐々木 眞三  
青沼 眞三  
花澤 眞三  
永山 眞三

祝發刊 石城吃音矯正研究會 會長 松本晃一